



関川村

第121号

令和2年11月15日発行
2020

議会だより



令和2年10月3日(土) 関川小学校創立10周年記念大運動会

- 8月臨時会議、9月定例会議 2 ページ
- 令和元年度決算審査Q&A 4 ページ
- 一般質問 7名登壇 6 ページ
- 議員活動報告 13 ページ
- 村民の声 渡辺伸栄さん 14 ページ



議会ホームページもご覧ください。
<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

発行 関川村議会 発行責任者 議長 渡邊秀雄
編集 議会広報常任委員会 TEL (0254) 64-1494

令和2年9月(第7回)定例会議

令和2年関川村議会9月(第7回)定例会議が9月10日から18日に開催されました。

議員7名の一般質問に続き、報告1件、認定2件、林道の変更案件1件、補正予算案件6件、人事案件1件、令和元年度一般会計、特別会計、公営企業会計の決算審査を行い、うち認定2件を決算審査特別委員会へ、陳情1件を総務厚生常任委員会へ、意見書の提出2件は総務厚生、産業建設常任委員会にそれぞれ付託されました。18日には全て原案どおり可決、採択されました。

一般会計補正予算 第6号

■歳入歳出
2億9,300万円を
追加し総額56億9,6
80万円としました。

総務費

・文書広報費
60万円の増額
広報無線機維持に使用さ
れるものです。
そのための修繕費です。

民生費

・保育園管理費
858・3万円の増額
換気機能付エアコン設置
空気清浄機購入、子育て支
援事業などに使うための増
額です。

衛生費

・清掃総務費
453・8万円の増額
ゴミ処理対策費として、
ゴミ袋の印刷製本をするた
めの増額です。

農林水産業費

・農業振興費
330万円の増額
水田営農振興費として、
電子申請システム構築委託
料の増額です。
・国土調査事業費
333万円の増額
国土調査事業費として、
金丸地区の地籍測量委託料
に係る増額です。

・林業振興費
100万円の増額
林道山田川線の維持補修
費としての増額です。

商工労働費

・施設整備費
2億60万円の増額
観光施設整備費として、

教育費

ゆくむ脇に健康増進施設を
建設するため、地質調査委
託料、設計施工監理業務委
託料、健康増進施設建設工
事費などを増額しました。
健康増進施設は、若者か
ら高齢者まで利用できるフ
ットネスクラブの機能と、
介護予防運動教室などが開
催できる機能を有する施設
を計画しています。



健康増進施設建設予定地(ゆくむ脇)

・教育振興費
350万円の増額
GIGAスクール配置業
務委託料として、小中学校
教職員をサポートするため
の増額です。
・小学校費
257・3万円の増額

関川小学校がキャリア教
育のモデル事業に取り組む
ための事業費や、パソコン
リース料などを増額しまし
た。

消防費

・消防施設費
250万円の増額
平内新に耐震性貯水槽関
連工事をするための増額で
す。

・中学校費
2,693・9万円の増額
関川中学校が人権教育研
究指定校として活動するた
めの事業費や、GIGAス
クール関連で、校内ネット
ワーク整備費やICT機器
購入費などを増額しました。

関川診療所特別会計 補正予算 第1号

・一般管理費
145万円の増額
空気清浄機購入と医療従事者職員慰労金に伴う増額です。

簡易水道事業会計 補正予算 第2号

・簡易水道事業費
350万円の増額
簡易水道事業費として、下関保育園グラウンド協に、水道管を入れるための増額です。

報告

■令和元年度健全化判断
比率及び資金不足比率

監査委員から村財政の健全化判断比率及び資金不足比率について意見書を付けての報告がありました。

健全化判断比率は①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の4つの数値で構成されています。いずれの数値も国が定める基準値である「早期健全化基準」の数値を下回っており、是正改善すべき事項はありませんでした。

資金不足比率は、「村有温泉特別会計」、「宅地等造成特別会計」、「簡易水道特別会計」、「公共下水道事業特別会計」、「農業集落排水事業特別会計」の5つの特別会計と「水道事業会計」の資金の不足について審査しました。いずれも資金の不足額は発生しておらず、令和元年度の資金不足比率は該当なしとなっています。

認定

■令和元年度一般会計及び特別会計決算の認定

決算審査特別委員会を設置し、全議員で決算審査を

行い、全ての会計決算を認定しました。

陳情

■コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書の採択を求める陳情

【要旨】

①・私立高校生への就学支援金制度を施設整備費も対象にすること、年収590万円を超える世帯への支援金を増額するなど制度の拡充を行うこと。②・私立高校入学金への新たな助成措置を講ずること。③・私立高校への経常経費に対する助成を増額すること。採択され、意見書が関係機関に提出されました。

源の確保を求める意見書の提出について

【要旨】

地方自治体は、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況となることが予想される。したがって国は、地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保することなどを求める。

■防災・減災・国土強靱化対策の継続的な推進及び拡充を求める意見書の提出について

【要旨】

激甚化・頻発化する自然災害に対応するための防災・減災対策や、インフラ施設の老朽化対策を重点的かつ継続的に実施できるよう、「防災・減災、国土強靱化

のための3か年緊急対策」の終了後も引き続き必要な予算を確保するとともに、地方財政措置の拡充などによる更なる負担軽減を図るなど、防災・減災、国土強靱化対策の継続的な推進及び拡充を求める。

それぞれの常任委員会で審議し、その後、採択された意見書が関係機関に提出されました。

臨時会議報告

8月19日

令和2年第6回臨時会議

◆一般会計補正予算(第5号)歳入歳出それぞれ4,530万円を追加しました。情報システム管理費、庁舎管理費、防災備品購入、ゆくむ利用券購入、賦課徴収費、児童措置費、感染症予防費、教育費などの補正予算を可決しました。

令和元年度 決算審査Q&A

※決算審査特別委員会を設置し、審査を
しました。

一般会計

◎総務費

統計調査費

Q 統計調査委員の選任方法は。

A 基本的には前回の調査委員にお願いしているが、年齢等も考慮し、区長や農家組合長に依頼する場合や、区長から推薦された方にお願いする場合があります。

◎商工労働費

Q 観光施設管理費の光熱水費の内訳は。

A 平成30年度のわかぶな高原スキー場の未払い分の電気料です。最終的に村が責任を負わなければいけないので支出しました。

Q 村民交流センター雲母里の利用状況は。

A 利用登録者は10名。農業法人1組織とあとは個人



雲母里を利用する
猫ちぐら工場の皆さん

です。加工品はゆくむ、あ
いさい市へ出店しています。
また、ふる里会への物品や
東桂苑カフェのお菓子とし
ても提供しています。

◎衛生費

保健推進費

Q 生活予防検診受診率は
他市町村と比べてどうか。

A 本村の受診率は、検診
の種類にもよるが、県内
はいずれにおいても上位に
位置しています。

清掃費

Q ゴミの総収量は前年度
から減量しているのに、収
集業務委託料が増額してい
る要因は。

A 収集業務委託料は収集
回数によって毎年前後する
ためです。

◎民生費

児童福祉費

Q 学童保育指導員の体制
は利用児童に対して十分対
応できているか。

A 平日の指導員は3人で、
利用児童は平均して30人
以下であり、十分対応でき
ています。

Q 保育料システム改修費
の内訳は。

A 国の保育料無料化に対
応したものです。全額国か
らの交付金で対応しました。

◎土木費

道路橋りょう維持費

Q 除雪作業委託料の前年
度比は。

A 平成30年度と比べ2,
817万円の減額となりま
した。

◎農林水産費

農業委員会費

Q 農政タブレットシステ
ムリース料とは。

A 農業委員会で農地パト



タブレットで地番を確認
(農地パトロール)

ロールを行う際に使用する
GPS機能付きタブレット
リース料です。

◎畜産振興費

Q 畜産団地の汚水処理施
設保守点検委託料には清掃
費も含まれているか。

A 含まれていません。

Q 清掃料は。

A 修繕費から支出しまし
た。

◎教育費

教育総務費

Q 奨学金の返還者が村に
定住すれば月額2万円控除
されるが、対象者数は。

A 令和2年度から減免対
象者が1名おり案内を送付
したが、申請はまだありま
せん。

Q スクールバス運転委託
料の減額理由は。

A 委託単価の減額ではな
く、運行回数が減少したた
めです。

◎社会教育費

Q 女川圃場整備に伴う発
掘調査費は単年度で終了し
たのか。

A 単年度で終了しました。

Q 今後の発掘調査は。
A 令和2年度は場所を変えて実施しています。

Q 放課後子ども教室のサポーターの人数は、どのような体制か。
A 登録サポーターは20名で、その月によってサポーターの増減があります。

保健体育費

Q 給食費補助事業の終了（後保護者から再開の要望があるが、次年度以降の再開は）。
A 今後は、全児童・生徒一律補助ではなく、多子世帯への補助や、他市町村の補助事業も踏まえ検討したいと思います。

16万1千円となります。

Q 保険給付費が増えているが、保険税も増額しているのか。
A 給付費は毎年5%くらいずつ伸びています。令和元年度は積立できましたが、令和2年度は保険税として集めた金額と県へ納める給付費がほぼ同額になります。このまま給付費が伸び続けるようであれば税率を修正しなければならぬ状況にあります。

Q 平成30年度から保険者が県に移ったことで、給付費が急激に伸びた市町村に対する激変緩和措置はいつまでか。
A 令和5年度までです。現在、保険税率の県内統一の検討をしているところで、関川村は県内では医療費は高くなっていますが、村民が負担する保険税率は低い方です。今後、保険税率が県内統一されれば上げなくてはならない状況にあります。

◎国保関川診療所

Q 年間患者数の自村国保2,281人その他9,216人とあるが、その他には村外の方も含まれているのか。
A その他は後期高齢者や社会保険の方で村外の方も含まれています。

◎介護保険事業

Q 要介護認定者数と介護サービス受給者数、介護サービス給付費がそれぞれ減少、減額した要因は。
A 人口減少に伴う自然減です。



デイサービスセンターふれあいの家

◎簡易水道

Q 水道配管が老朽化して今後突発的な修繕が見込まれる。簡易水道に移行した大きな理由が、有利な地方債が使えることで、計画的に水道配管の取替えを行うことができるとの説明があった。地方債活用の方角で進めるのか。
A 地方債を活用しても村の負担もあるので、状況を見ながら計画しなければなりません。

Q 計画的に取替えた方が予算的にもリスクが少なくなるのでは。
A 例えば本管の大口径になると多額の費用がかかるので漏水修理で対応した方が良い場合もあります。そのため計画的な配管の交換と修繕を比較しながら進めたいと思います。

◎公共下水道事業

Q 水道料金の値上げは。
A 令和2年度に水道料金見直しの検討委員会を立ち上げる予定です。

Q 下水道加入率を上げる対策は。
A 住宅リフォームで下水道に接続する際、住宅店舗



水道管漏水工事

◎農業集落排水事業

Q 令和2年度に公営企業会計に移行したが、国県の補助事業で不利益になるとは。
A 会計が1つになるだけで、事業申請関係は今ままでおり農排、下水の2本立てになります。

特別会計

◎国民健康保険事業

Q 1世帯に4人国保に加入していると金額は。
A 40歳以上の夫婦と子ども2人の世帯では、所得割が課税されない場合、年間

財産に関する調書

Q 財政調整基金はどれくらいあれば安心か。
A 市町村ごとに基準はありますが、当然の場合には6億から7億と考えます。どの程度が適当かは明確な基準はありません。

一般質問



加藤 和泰 議員

・「新型コロナウイルス 経済支援策」 少人数グループへの 宴会支援が必要では

議員

プレミアム商品券発行事業について

この事業は、より多くの村民が購入できるよう世帯当たりの購入制限を3万円としたが、完売はしていない状況であるが、対策は。

村長

プレミアム商品券発行事業は、村内での消費喚起による経済の活性化と、コロナ禍における村民への経済支援策を目的として商工会への補助事業として実施したものです。未販売分については、9月1日から二次販売を開始しました。

議員

オードブル用クーポン券事業とデリバリーランチ補助事業について
利用実績は。

村長

オードブル用クーポン券

の9月4日現在の利用状況は2009件で、利用率は全世帯の約11%です。

需要が低迷し、利用率が上がらなかつた要因は、全国的な新型コロナウイルスの急速な感染拡大により、お盆時期の帰省や夏場の大勢での会食機会が減少したことによるものと思われま

す。また、近隣の荒川商工会で実施しているテイクアウト事業のチラシのように、店自慢のオードブルを写真で紹介するなどの広報も必要ではなかつたかと考えています。

議員

GoToせきかわ大したもんだ値キャンペーンについて
利用状況・予約状況は。

村長

6月20日から先着2,000名を対象に募集しましたが、7月8日には予定人数に達し、大変好評を得ています。

利用実績は、8月31日現

在、約40%の方が利用されています。

7月の宿泊者数は、対前年対比で約16%増加しました。しかしながら、8月の宿泊者数は、前年対比22%程度減少しています。

要因は、お盆前後の期間での新型コロナウイルスの感染拡大や大したもん蛇まつりの中止によるものが考えられます。

国のGoToトラベル事業、新潟県民宿泊キャンペーンなどの効果もあります。村の事業は村内の温泉旅館への誘客に直接結びつき、また付帯発行の商品券による、お土産等の購入により、旅館以外でも一定の経済効果があったものと考えます。

議員

低迷する宴会需要への経済支援策として、例えば10名に満たない少人数グループの宴会に対する支援策などが必要と考えるが。

村長

村内の飲食店や旅館には需要喚起策を、個々あるいは共同で検討するなど主体的な取組に期待し、その上で、村が何をすべきかを検討したいと考えます。



一般質問



伝 信男 議員

株式会社わかぶな高原と 株式会社パワープラント関川 の現状は

議員

村は、3月31日で期限切れとなった株式会社わかぶな高原とのスキー場賃貸借契約は延長せず撤退期限を4月末とした。しかし、株式会社わかぶな高原から、営業に向けて良い協力者がいるが、コロナウイルスの影響で話し合いができない状況にあるため時間が欲しいとの申し出があり、最終撤退期限を8月31日としたと聞いているが、現在の状況は。

村長

運営会社の経営が資金繰りなどを含めて安心して施設の運営を任せられる状況にないことから、3月31日で無償貸付けを打ち切ることにしました。しかし、運営会社から資金調達も含め事業の継続について検討を行うため契約延長の要請があり、4月末まで、さらに8月末までと二度にわたり延長を認めてきました。結果として新たな事業計画の進展や具体的な資金計画の提示がなく、今後の見通し

も立たないことから、再度無償貸付けの延長は行わず、立ち退きを通知しました。

議員

現在の状況は。

総務政策課長

文書で通知し、その後、頻繁に訪問し、どのように撤退の準備をするのか状況を確認しました。

現在、撤退の準備をしている状況です。

議員

スキー場施設の解体費用算出のため見積り依頼を計画しているが、実施したのか。また、どの程度の解体を予定しているのか。

村長

令和4年7月24日までとなっている地権者との賃貸借契約では、契約が終了したときは現状に回復して返還することを原則とするという条文があるので、返還方法について地権者と話し合う必要があります。そのため、契約満了後の扱いについて地権者の意向を把握するため、活用方法や返還となった場合の施設

の撤去等について意向調査を実施しました。

その結果、土地の利活用は、村に活用をお願いしたいという意見が多くありました。また返還となった場合の施設等は、建物を残してリフトのみ撤去という意見が多くあったと思います。

撤去を含めた契約満了後の対応は、出来るだけ多くの地権者から賛同を得られるように話し合いを重ねていきたいと考えています。施設撤去費の積算業務委託は、6月に発注しました。

議員

撤退後の株式会社わかぶな高原に対し、どのような対応をしていくのか。

村長

撤退後に権利関係でトラブルが生じないように、アチエーロやスキー場施設にある株式会社わかぶな高原所有の備品は、村が現状を評価し総額250万円で買い取り、その代金を2千万円の貸付金債権の一部と相殺しました。

今後は施設の明け渡しと

貸付金残額の回収が株式会社わかぶな高原への対応として残ることになります。

議員

村はバイオマス発電事業からは撤退を決断したが、第三セクターの株式会社パワープラント関川はまだまだ継続している。また住民訴訟の裁判も現在は補助参加人が参加して継続しており、問題解決には至っていない。今後の株式会社パワープラント関川への対応は。

村長

バイオマス発電事業は、平成28年11月に提訴されて以来3年11カ月が経過し、現在は補助参加人も加わり争点整理が行われている段階です。

株式会社パワープラント関川は、村が出資して設立した会社で、株主として貸付金の債権者としてもどう整理すべきかについて、弁護士とも相談しながら裁判の終結を待つて判断したいと考えています。

一般質問



平田 広 議員

・ 国の制度「集落支援員」の活用を望む
・ 有害鳥獣駆除の強化を

一、「集落支援員」の活用を
議員

国の「集落支援員」制度は、特別交付税措置があるうえ、地域おこし協力隊と異なり身近な人材が採用でき任期もなく、村にとって利用価値のある魅力的な制度であると思うが、

- ①これまで村で活用してこなかった理由を伺う。
- ②今後活用する考えは。

村長

①制度創設時に導入を検討しましたが、求める役割が現行の区長制度によってある程度果たされていることや区長との関係が煩雑化すること、区長と兼任した場合、活動報告書の作成など業務負担が大きくなることなどの理由から見送られた経緯があります。
②現在は少子高齢化や人口減少がますます進む中で、共助の役割が強く求められており、地域の活力を維持し、安心して暮らせる地域づくりを推進するためには、コミュニティなど大きな単位でこの制度を導入する意

義は大きいものと考えます。先進自治体の事例なども参考にしながら、配置対象地域や活動内容などを検討し、導入を進めていきたいと思えます。

議員

阿賀町では10人採用し、移動販売車の運営や有害鳥獣の駆除も担っている。村でも健康増進や高齢者の見守り、教育、部活動の指導員など様々な分野で活動してもらえると考えるが。

村長

集落支援員は任期や年齢の縛りもなく、しかも交付税措置がされ、極めていい制度であると思います。課題は人材確保であり、村としても制度の活用を前向きに進めていきたいと思えます。

二、有害鳥獣駆除の強化を
議員

以前にも一般質問を行ってしたが、状況変化等も合わせ、次の4点について伺う。
①「猿害対策に地域おこし協力隊を採用できないか。」

との質問に対するその後の検討状況は。

②「防止柵も重要ではあるが、鉄砲で駆除するのが一番有効であり、猟友会との協力強化と村の更なる支援が必要と思うが。」との質問に対するその後の検討状況は。

- ③猿害に対し、今年も多くの電気柵が設置されたようだが、その状況を伺う。
- ④松平畜産団地で7月中旬頃、熊が出没し母豚に噛みつき数か所ケガを負わせた。その後、檻で熊を捕獲したが、その状況と防止策は。

村長

①現在、村ではICT技術を使って有害鳥獣対策ができるか調査中です。今年の10月頃には企業から提案をされる予定です。それを基に猟友会と協議を進めたいと思えます。
②これまでも猟友会には被害予防のため、巡視活動や駆除、捕獲を委託し、昨年度は猿132頭、熊8頭などを駆除していただきました。国の制度活用を引き続

き検討していきます。

③今年度の申請件数は21件で、補助金の総額は106万2千円で例年より多くの申請があり当初予算は全て執行済みです。今後は、次年度の予算編成に向け、状況に応じ補正予算で速やかに対応していきます。

④7月18日午前8時過ぎに、従業員が傷を負っていた母豚を発見しました。熊が母豚舎の外壁と空気窓の金網を破って侵入し、母豚を爪でひつかいたと思われます。翌日、捕獲檻で熊は捕獲されました。熊は豚用の工サを目的に侵入したと思われ、被害にあつた豚は治療され、その後子豚を出産しました。

議員

④集落付近で危険性が高いにもかかわらず広報無線等での知らせがなかった。危険性が高い場合、結果についても報告を強く望む。

一般質問



小澤 仁 議員

・「デマンドタクシーえぶり号」 利用率向上に向けて

議員

8月1日より実証運行が開始されたデマンドタクシーは、1ヶ月が経過し、当初より想定されていたが、利用率がほぼ1日1人の状況になっている。3月まで実証運行を行い、次年度から、本格稼働の予定である。実証運行の利用率を注視し、より多くの住民の皆様の利用を求めたいと考えるが、早い段階での対策が必要ではないか。

現在行っている対策、もしくは検討している内容を伺う。

村長

8月から実証運行を開始したデマンド型乗合タクシーえぶり号は、主に高齢者の村内医療機関の通院を目的としています。今年度の実証運行で当村の新たな生活交通手段として地域に定着、来年度4月から本格運行として事業を継続することを目指しています。

8月の利用実績が25人利用、運行日20日で割りますと平均1・25人となっています。

ます。8月は医療機関が休診となるお盆期間の利用がゼロだったこと、及び事業開始直後で村民の認知度が低いため、利用率がまだ低い状況だと思います。

ただ、8月の利用者はリピーターがほとんどで、一度利用した方は、片道500円で自宅まで送迎してくれる利便性の良さから高齢者の生活手段の一つとして満足度の高いものといえます。

当事業は6月に立ち上げた関川村地域公共交通活性化協議会が運営主体であり、高齢化が進む関川村の公共交通全体のビジョンを築いていく上で新たな交通手段の一つとして実証運行をしているものです。今後、年に数回開催していく協議会で当事業の課題等を検証し、改善を図るP↓D↓C↓Aを行っていききたいと考えています。

また、当事業開始のきっかけの一つとなったデマンド交通導入に関する提言を行った関川村地域福祉計画

推進委員会ワーキングチーム「やるでは会」がデマンドタクシーの利用促進と検証を今年度実施する予定です。やるでは会と連携しながら、まず一度利用してもらったための取り組みやPRを、地域の茶の間や村内医療機関等で行うことはもちろんですが、役場庁内の職員にも周知徹底し、特に高齢者福祉の観点から普及に努めていきたいと考えています。その上で、利用者の

意見を集約し、地域住民の細やかなニーズ把握に努め、改善を図って行きます。具体的な利用率向上のための方策は、9月15日にデマンドタクシーの利用方法をまとめた家庭保存用ポスターを対象エリアの各戸と村内医療機関へ配布し、10月中を目途としてお得な回数券の販売開始を予定しています。

いづれにしても、冬場の生活交通手段としてのニーズが高まることを念頭において、11月から12月までに地域住民全体に認知され、

1月、2月の厳冬期には医療機関への交通手段として定着するよう周知活動を行っていききたいと考えています。

議員

利用者の方の数人に、使った感想を聞いてみたところ、「医療機関に500円で連れて行ってもらうのは大変な難い。でも、買い物や親せき、知人宅にも行きたい。」と言う意見もあったという事だが、今後の展開としてそういったことも構想にあるか。

村長

今、まずやらなければならないことは、医療機関に行く事が不自由な方、あるいは家族や、知人に支援してもらって申し訳ないなど思っている方が利用できる環境をしっかりと整えること。今後、医療機関へのサービスが基本的に満たされている、達成できているという段階になれば、次のアクションも当然考えなければならぬ状況だと思えます。

一般質問



近 壽太郎 議員

・ 集落機能維持を
コミュニティの力で

議員

5地区のコミュニティで、平成29年度から住民アンケートを実施し、分析レポートを出している。その中の「暮らしの困りごと」、「今後取り組むテーマ」では、雪下ろし、健康不安、農地・山林の維持管理が共通課題として挙げられている。以前から集落行事として行ってきたが、少子高齢化でままならない現状になっている。特に人口の少ない集落では著しく、環境や防災面で悪影響も始めている。またこうしたことに不安を抱いている住民が多いことをアンケート結果が示している。

イの協力体制や連帯が一層高まり、活性化も大いに期待できる。
村長の所見を伺う。

村長

8月末の時点で村の高齢化率が41・7%となっており、高齢化や人口減少が起因となつて、集落維持のための活動や行事に支障が出ていることは認識しています。その中で、集落のみならず、コミュニティとして地域課題を共有し、協力し合える仕組みを作ることには大変意義のあることですし、これからの村づくりにも共助は必要不可欠な視点です。

議員

全地区は終わっていないが、5地区で共通課題が出ている。来年度試行的にモデル地区を選定して実施する考えはないか伺う。

観光地域政策室長

全住民にアンケート結果を告知し、全コミュニティ会員に周知したうえで、さらに課題解決に向け会議をするという順序で今進めています。

議員

コミュニティ連絡協議会で取り上げて協議することはできないか。

観光地域政策室長

コミュニティ連絡協議会では、取り組み事例やどんな制度があるのか、今一度知りたいという要望があります。まずは、その周知から行おうと思います。

議員

切羽詰まった集落もある。一刻も早い解決策を必要としている。できるだけ早い対応を考えてもらいたい。

一般質問



伊藤敏哉 議員

・地域運営組織に対する 一歩踏み込んだ 育成・支援について

議員

国では2020年から24年の5か年を地方創生の後期(第2期)として、各地域が意欲と熱意を持ち、その地域の強みや魅力を活かした取組みに対して国が支援するとしている。具体的には人口減少を和らげるため、結婚、出産、子育ての希望をかなえ生活面の充実を図るとともに、文化や歴史、街並み等を活かし地方の魅力を育み、人が集う地域を作り上げていくとしている。

鹿児島県鹿屋市柳谷集落、島根県雲南市や高知県梶原町、隣県山形の川西町など、行政支援で設立したNPO団体が財政的にも自立し行政との協働を実現している事例も全国的に増えている。本村では、9つのコミュニティ組織が地域の融和、親睦のための様々な行事の企画運営や地域内集落の連携のため鋭意活動を行っている。

また、七ヶ谷雪ほたる、大石どもんご祭り、霧出郷

地域の竹灯笼の迎え火など村の風物詩に成長したこれらイベント行事をそれぞれの主催団体が意欲と熱意を持ち自主的・主体的に取り組んでいる。

これら9つのコミュニティ組織、イベントの主催団体を、村が支援する形で発展的にNPO法人等の、より自主性・主体性の強い組織に育成することができれば、将来の真の住民自治が根付くことにつながり、村と住民の本当の意味の協働の実現につながるのではないかと。地方創生の後期5か年で、各省庁が所管する補助金、交付金など有利な制度を活用して一歩踏み込んで組織を育成・支援していくこと



村長

関川村は地域でのまとまりが強く、9つのコミュニティいずれにおいても少子高齢化、人口減少の中、地域の融和、親睦に向けた様々な取組みをしていただいていることに敬意を表します。

また、各種イベントに取り組む団体においては、それぞれの団体の思いがあるうかと思しますので、一義的には行政の支援は控えるべきと考えますが、地域をよくする思いは行政も同じであり、忌憚のない意見交換・連携・協力は必要と考えています。

ご指摘のとおり地方自治の考え方は、地域の問題は自分たちで考え、解決することが基本だと思えます。

今後、各コミュニティ組織では、世代を超えた意見交換を行っていただき、地域の核となる人材を育てるとともに、地域の課題をそれぞれの視点で考え、行事の企画運営にとどまらず、課題解決のための地域運営組

織としての取組みを活性化させていたいただきたいと考えています。村としては、そのための予算措置や地域おこし協力隊、集落支援員の配置などを支援のメニューとして検討していきたいと考えています。

なお、組織の法人化については、NPO法人であれば団体が契約の主体になれることや団体が資産を持つことなどいくつかのメリットがあります。それぞれの組織が自分たちの組織にふさわしい組織の在り方を考えていくことが望ましいと考えています。

組織づくりの優良事例については、コミュニティの会議等で情報提供していきたいと思えます。

また、まだ検討段階ですが、コミュニティに一定の資金を預けることで、それを原資として地域課題の解決のための話し合いをはじめ、様々な活動を自主的・主体的に取組んでもらうためのインセンティブ(誘引)になればと考えています。

一般質問



鈴木紀夫 議員

・ごみ問題

ゴミにも色々ありまして

生活するうえで必ず出る様々なゴミについて伺う。

家庭ごみ

議員

ゴミステーションへのゴミ出しは当日の朝と決まっている。特に資源ゴミ等は月1回ペースでもとても不便に感じる。そこで、各コミュニティに通年ごみ出しが可能なゴミ集積ハウスを設けることはできないか。

村長

通年ゴミ出し可能な集積ハウスの設置となると、環境面やルールの徹底、問題発生時の対応、コミュニティでの管理体制等しつかりとした検討が必要と考えます。なお、ゴミ出し困難な高齢者世帯への支援は今後ますます必要となつてきますので、まずは実態把握に努めます。

いじみ屋敷

議員

民家や空き家がゴミであ

ふれるゴミ屋敷問題。景観を損なう、有害鳥獣の住着き、臭害、火災の危険など、近隣住民に不安を与えている。

「関川村ごみ散乱等防止条例」はあるが機能せず、法的な縛りもあり解決に至っていない。村の今後の対応は。

村長

自治体では居住者等に対して住宅の適正な維持管理の行政指導、さらに命令する法的権限がありますが、本人に改善意思がない場合には解決されないのが現状で、抜本的な解決策がない中で苦慮しているところであります。他の自治体の取組を注視するとともに、所有者に対しては美化推進について粘り強く要請をしていきたいと考えています。

ゴミに関する条例も、命令の「強制力」よりも支え合いの「共生力」を強化し、実のある条例改正も必要と考えます。

住民税務課長

空き家のゴミの対応も居

住者がいる場合と同様で、住民トラブルに配慮しながら、所有者へ対応を要請しています。

ごみ最終処分場

議員

県エコパーク計画について、下越地域に候補地選定に向けた動きがある。村長の考えを伺う。

村長

県の上位計画として中越に県広域最終処分場「エコパークいずもぎき」が整備されています。下越にも整備計画があり、協議会の構成員として関川村も参加しています。村上市とも調整しながら、エコパークの整備に協力していきたいと考えます。

議員

環境対策は技術向上により問題なし。地元の受け皿企業を立ち上げ、雇用の確保と地域還元措置にも期待できる。村誘致の考えは。

村長

利点は理解していますが、

現在、村内に適地はないと考えます。「ゴミは出すが処分は嫌だ」は無責任と思つています。議論もせず否定するのではなく、もし適地があれば協力しなければならぬと考えます。

核のごみ

議員

高レベル放射性廃棄物の処分候補地に北海道の寿都町が名のりを上げた。文献・概要調査の6年間で最大90億円の交付金が出る。経産省作成の科学的特性マップで関川村は候補地として好ましい特性があると記載されている。村は候補地として名のりを上げる可能性について村長の所信を伺う。

村長

県知事の方針を見ても現実的な話ではなく、県民感情としても許されるものではありません。村が核のごみの処分候補地として名のりを上げる考えはありません。

議会議報

新潟県町村議会 広報研修会

8月26日に新潟県自治会館において、県内九つの町村議員が参加し、コロナ対策を徹底した中、広報研修会が行われました。

この研修会は、県内の町村議会、「議会だより」などの広報紙の発行活動している議員に対し、編集能力を高めるために、毎年行われる研修会です。

当村も議会広報常任委員会の委員6名が参加しました。

午前日程で、田上町、出雲崎町、津南町の各広報委員長から取り組み方や編集方法についての事例発表がありました。午後日程にて、

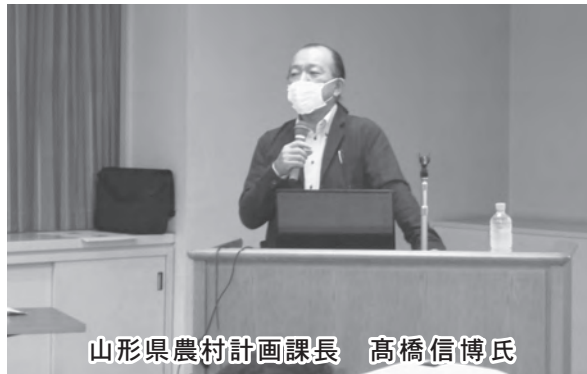


新潟県町村議会議長会長 南雲 正氏

朝日新聞メディアプロダクション校閲部長の前田安正氏を講師として、伝わる文章の作り方、編集についての講義と、5市町村で発行している「議会だより」の広報紙診断と校閲を受けました。

閔川村・小国町 議員交流会

10月8日に小国町にて小国町議員と交流会が行われました。



山形県農村計画課長 高橋信博氏

山形県置賜総合支庁農村計画課長の高橋信博氏による「超現実的な地域づくり」の講演を拝聴しました。住民が自ら課題解決へ行動する仕掛けを用いて、今までのにない仕組みの住民参加型の地域づくりには大変驚く素晴らしい内容の講義でした。

その後、小国町がブランド化を進めている「白い森」の名がついた道の駅を、小国町担当職員の説明にて視察をしました。

山形県に設置された道の駅は、全国的にも評価の高い施設が多く、小国町も力を注いでいるとのことです。

閔川村も道の駅リニューアルを計画しており、今後の参考にしたいと考えます。



道の駅「白い森おぐに」

おめでとつございませう

渡邊秀雄 議長
信男 議員

表彰授与

この度、渡邊秀雄議長と伝信男議員の両名に、新潟県町村議会議長会より表彰が授与されました。

この表彰は、自治振興並びに議会機能の向上に功績が顕著な町村議員に贈られるものです。

両議員におかれましては、益々のご活躍に期待します。



表彰された
伝信男議員(左)と渡邊議長(右)

村民の声

ふるさとの山々

渡辺伸栄さん
(上 関)



ここで生まれ、ここで育ち、ここで生きて74年になります。途中何度か狭い盆地の底から抜け出そうとしましたが、結局アリの巣穴に戻るようになって、ここで安住しています。多分、周りの山々から呼び止められたのでしよう。

生まれた時から見守ってくれている山々です。仰ぐだけでは物足りなくて、山中に分け入り、頂に立つてみました。親しみは一層増して「登った山はオレの山」の気分です。

盆地の底から見える山々を紹介してみましようか。貝附の狭戸から左回りです。(ゴチツクの山は未踏で、これからの目標です。)

- 御城山 高坪山 赤谷城山 内須川城山 牟礼山 二王子岳 杓差岳 飯豊山
- 長峰山 大境山 立烏帽子 葡萄鼻山 沼山 丸山 若ブナ山 テレビ塔山 横松峰 沢城山 湯蔵山 元光兎 三角点

- 山 頭巾山 光兎山 大朝日岳 鷲ヶ巢山 大平山 山塊 西山 朴坂山 桂城山 ミクラ山 葉師山 遠矢場城山

この中で、何と言っても筆頭は杓差岳でしょう。飯豊連峰の端っこに目立ちもせずに小さくなっているくせに、それがどうです、関川村に來たとたんデンと構えて威風堂々大威張り。何ともいじらしくもあり、誇らしくもあり。

これまで何度か登りました。山頂周辺のお花畑は秀逸で百花繚乱、千紫万紅、まさに天空の花園です。

ある年、山頂から中秋の名月を見たくて、東俣道を一人登ったことがあります。

佐渡の島陰に赤い陽が落ちる頃、小国盆地から真ん丸の月が上がり、一晩中煌々と飯豊の峰々を照らす様は、圧巻でした。やがて満月が佐渡の島陰に消える頃、地球を一周した太陽が月を追って昇ります。すると、小国盆地の雲海が、荒川の流れに沿って県境の峽

谷をうねるように下ります。まるで白龍か白蛇。山でこんな光景に出会えるものの存在を実感します。朝な夕な、盆地の底から山々を振り仰ぎ、思います。ここで生きて、やがてここで逝く。願わくは、その後も大なるものの下で、どこにいるか分からないくらいに小さな山の一つになって、この盆地の底を見たいと。先に逝った方々も、山の峰々でそうやっていて、「お来たがね、おめさんの場所はそこだ」などと言ってくれそうな気がします。



そんなことを思いながら、まだ元氣なうちはと、全国あちこちの「オレの山」に出かけています。

※各山の位置はwatamobu.com「山地図」を参照下さい。

編集後記

「天高く馬肥ゆる秋」いよいよ実りの秋を迎えました。コロナ禍で新しい生活様式にとまどいながら過す日々です。

鳥獣害の被害が増えている中、人身被害が発生してしまいました。亡くなられた方のご冥福と、ケガをされた方の1日も早い回復をお祈りいたします。

稲刈りが終わると、冬仕度です。昨年が少雪だったわけですが、適度な雪を期待したいところです。(仁)

議会広報常任委員会

- 委員長 加藤 和泰
- 副委員長 近 壽太郎
- 委員 鈴木 紀夫
- 委員 伊藤 敏哉
- 委員 小澤 仁
- 委員 高橋 正之